

# レオロジーの必須基礎知識と測定・解析技術

《レオメータによる粘弾性測定の実演あり》

## 1日速習講座

- ◆日時:2025年8月7日(木) 10:30~16:15
- ◆会場:ドーンセンター 5F 大会議室2【大阪・中央区】
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込、資料付)
- ・2名同時でお申し込みされた場合、1名につき44,000円(税込、資料付)

◎詳細はHPにて⇒<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250880>

### セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

#### 《受講対象》

- ・レオロジー(粘弾性)に興味のある方
- ・これからレオメータを使おうとされている方
- ・すでにレオロジー(粘弾性)の測定をされている方

食品・化粧品・医薬品・化学品などの  
メーカーの方に役立つセミナーです!

#### 《講座の趣旨》

第1部の午前はレオロジー(粘弾性)の非常に入門的な話をします。午後は応用編で、第2部の講義・実演で得られる測定結果の見方やレオロジー測定で惑わされるおかしな結果が出る例を具体的に提示します。そして最後に、現在の最新の測定方法について紹介します。

第2部では、実際にレオメータを使った実演を交えながら、レオロジー(粘弾性)の測定について詳しく解説します。

【第1部】10:30~12:00、13:00~14:30

「レオロジーの基礎・レオメータでわかること」

講師:大阪大学 大学院理学研究科 准教授 浦川 理 氏

◇プログラム:

1. レオロジーとは
2. レオメータの基本
3. 粘性体・弾性体・粘弾性体
4. 粘弾性体について定義される物質パラメータ
  - 4-1 緩和弾性率
  - 4-2 複素弾性率
  - 4-3 粘度成長関数
  - 4-4 複素粘度
  - 4-5 Boltzmannの重畳原理による各粘弾性パラメータの関係付け
5. 高分子の粘弾性
  - 5-1 高分子の粘弾性スペクトル
  - 5-2 粘弾性パラメータの分子量依存性
  - 5-3 時間温度換算則
  - 5-4 からみ合いとは
  - 5-5 非線形粘弾性挙動
6. おわりに

《質疑応答・名刺交換》

【第2部】14:45~16:15

「粘弾性測定の基本と実演」

講師:(株)アントンパール・ジャパン

プロダクトマネージャー 宮本 圭介 氏

◇プログラム:

1. 粘弾性体って?
2. 粘度計と粘弾性測定装置の違い?
3. 粘弾性測定の基本
4. 粘弾性測定装置の概要
5. 回転測定と振動測定、その応用例
6. 回転測定及び振動測定の実演
  - ・様々なサンプルを使用した測定実演
  - ・ハンドクリームや食品サンプルなど

《質疑応答・名刺交換》

### 『レオロジー測定』セミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>